

プログラム NO.11 「地域景観プランナーになろう」

単元名 「まちの草木の彩」(全13時間)

学習のねらい

- 場所や季節によって、地域、自然、景観(草木の彩)のよさが異なることに気付く。
- 自分のまちの、草木の彩のよさは、人によって考え方や見方に違いがあることを知る。
- 調べたことやわかったことをどのようにまとめたらいいかを考え、表現方法を工夫する。
- これからもまちの草木の彩を守っていけるように必要なことを話し合い、実行する。

学習活動

- 1 まちの景観を彩っている草花を見付けよう ④(年間通じて)
- 2 まちの景観である「草木の彩」のために活動してくださっている方について考えよう②
- 3 「景観」とはなにかを知り考えよう①
- 4 まちの「草木の彩」を広めよう ④
- 5 これからも自分たちのまちの「草木の彩」をまもるために必要なことを考えよう ②

学習の流れ

活動の流れ	学習活動	指導	評価
1 (年間通して)	○春の植物の観察 (季節の植物の観察)	・春の植物を観察することで、春の草木の彩に気付けるように促す。 ・自然の「彩」と、人の手によって守られている「彩」があることに気付けるようにする。	活動の意欲 ワークシート・観察 草木の彩マップ
	○地域の植物の観察	・公園の草木の「彩」にも気付けるようにする。	新しい課題の発見 ワークシート・観察
2	○学校の「フラワーボランティア」さんのお話を聴く	・どのような思いで、学校の草木を守って下さっているのかに気付けるようにする。	新しい課題の発見 ワークシート・観察
3	○「景観」とは何かを知り考える	・「景観」とはなにか、まちを作るうえで大切なものであり、「草木の彩」もまちの「景観」の一つであることに気付けるようにする。	課題追及 ワークシート・観察 表現力

4	○まちの景観の一つである「彩」を広めるためにどのような方法があるかを話し合い 表現するために活動していく	・子どもたちの思いや考えを大切にしながら学習をすすめられるようにしていく。	自己評価 課題追及
5	○これからも自分たちのまちの「草木の彩」をまもるために必要なことを話し合う	・子どもたちの思いや考えを大切にしながら学習をすすめられるようにしていく。	

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

当たり前にも身の回りにはある彩に気付くように工夫してきました。自然の「草木の彩」も、人の手によって守られている「草木の彩」も、気付かないところでどれだけ自分たちの生活を豊かにしているかを改めて考えられるように意識してきました。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

地域の「草木の彩」について、まちの方への広め方、表現の仕方について考えることに苦労しましたが、地域のお祭りにブースを出して発表することができました。

#### (3) 児童の反応

季節によって、「草木の彩」が違うことを改めて感じていました。自然の「彩」というのは、いつも必ず同じ色ではない、ムラがあったり、薄かったり、濃かったりします。日によって違う色もあるが、そのときそのときの色が、素敵だということに気付いていました。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

地域の景観の一つである「地域の草木」への愛情がわきました。教室に「草木の彩」を飾って、教室の中でも季節を感じられるようにしようとしていたりしました。心地よい景観、こうしたいと思う景観は自分でもつくれるものだということに気付きました。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

「草木の彩」だけでなく、まちの景観をつくっているものに気付き、自分たちのまちを大切にしていこうという意識をもたせ続けていくことができたらと考えています。